

募集要領

ディープテックスタートアップ創出「第1回なのはなコンペ（アドバンスコース）2021」

【内容】 千葉大学学術研究・イノベーション推進機構（IMO）は、本学教員や大学院生のアントレプレナーシップ（起業精神）を高めるとともに、技術シーズをもとにした事業化に必要なエッセンスを学ぶことを目的として、本コンペティションの参加者を募集します。

座学と演習を通じた事業開発ノウハウの習得、最終ピッチを通じた発信力の獲得、プログラムを通じた参加者同士の交流を目的としています。本コンペは、1次審査（書類審査）通過者を対象とした全4回のワークショップと最終審査（ピッチコンテスト）で構成されています。

6月から7月に本学学生向けに実施した第19回なのはなコンペ2021ではベーシックなアントレプレナーシッププログラムとして実施しましたが、本プログラムは仮説検証、マネタイズを含めたより実践的なビジネスプランの構築方法を学んでいただくアドバンスコースとして用意しました。

国内外の第一線で活躍する講師、審査委員とともに演習型プログラム（ワークショップ）で、参加者が事業化に必要な知識・スキルを経験的に身につけ、ピッチコンテストでビジネスプラン発表を経験することを目的としています。優秀賞には豪華賞品を用意しています！

ワークショップは、仮説検証を繰り返しながら効率的に事業を立ち上げていくリーンスタートアップの学習プログラムである「リーンローンチパッド」を研究者向けにアレンジした全4日のプログラムとして開催します。毎回宿題が課される大変なプログラムですが、終了時には市場とのギャップだけでなく顧客ニーズのつかみ方が身に付きます。

【ワークショップ講師】

堤 孝志 氏（HP など）

スタートアップ・ブレイン株式会社 代表取締役



事業化プロセスを活用してスタートアップの投資育成を行うシードアクセラレーターを運営する。総合商社、シリコンバレー及び国内のVCでの通算20年以上にわたる新規事業の立ち上げとベンチャー投資の経験と、「顧客開発モデル」等の事業化手法の知見とをブレンドした経営支援が強み。東京理科大学工学部卒、McGill大学MBA、早稲田大学客員教授。訳書に「アントレプレナーの教科書」等がある。

【参加資格】

- ・千葉大学の教職員・大学院生（2022年度千葉大学に在籍の方がチームメンバーに含まれること）
- ・製品・サービス化が可能な、ご自身（または研究室）の研究・技術シーズを持っていること（特許出願など知財があると望ましい）
- ・4回のワークショップと最終ピッチコンテスト（2022年1月）への参加できること。（全てに参加でき

なくても毎回少なくともチームの誰かが参加するようにしてください。)

- ・申請は、1人（1チーム）1件とします。
- ・チームで参加する場合は、3名/チーム以内とします。

※今回は、本年度なのはなコンペ（第19回なのはなコンペ2021）に応募された方（採択・不採択ともに）が同じ技術シーズでの参加も可能です。

【募集期間】 ～ 11月1日（月）正午

【申請方法】

申請書をダウンロードし、必要事項を記入の上、メールにて IMO ホームページ・アントレプレナーシップ教育担当までお送りください。チームで参加する場合は、参加者全員の情報を記載してください。

ファイル形式はワードファイル、ファイル名は”代表者氏名.docx”としてください。

（例 代表者氏名：foo bar の場合 → ファイル名：FooBar.docx）

【申請書送付先】

IMO ホームページ・アントレプレナーシップ教育担当

imo-entrepreneur@ (@マーク以下に、chiba-u.jp)と入力してください。

【表彰及び研究助成】

最終審査（ピッチコンテスト）で、将来性のある優秀なビジネスプランを選考し、最優秀賞、優秀賞などを表彰いたします。IMO 機構より 100～300 万円/年（2022 年度配賦予定）の研究支援をさせていただきます。

さらに、「後援者賞」を設置し、後援者より 1 件につき最大 10 万円の奨励金を授与します（複数後援者交渉中）。

【コンペの流れとスケジュール】

< 1次審査（書類審査） >

書類選考にて合計 5 チーム程度を採択します。

< ワークショップ >

全 4 回で、以下の内容を中心に学びます（順番が変更されたりする可能性もございます）。

- Day 1
- ・商品アイデアからビジネスモデルの骨格を構築する方法の講義・演習
 - ・顧客に示す商品説明資料の作り方の講義・演習
 - ・商品説明資料の発表とフィードバック
 - ・ビジネスモデルの仮説検証方法（顧客開発モデル・リーンスタートアップ）の講義・演習
- Day 2
- ・プロトタイプ（必要最小限の商品、MVP）の技法の講義・演習
 - ・商品需要検証のための顧客インタビューの方法の講義・演習

- Day3
 - ・ 仮説検証演習の結果の中間発表とフィードバック
 - ・ ビジネスモデルの全体像を構築する方法の講義・演習（ビジネスモデル・キャンバス）
 - ・ ビジネスモデルの工夫のコツの講義・演習
 - Day4
 - ・ ビジネスモデル仮説検証演習の結果の発表とフィードバック
 - ・ ビジネスモデルに基づくビジネスプランの作り方及び発表方法の講義・演習
- ※状況によっては、オンライン開催となる場合がございます。

事業化に必要な知識だけでなく、グループワークを通してプレゼン力や思考力を養うと共に、専門分野を超えた仲間との出会いも大きなメリットとなります。

<最終審査（ピッチコンテスト）>

外部審査員を招聘し、コンテスト形式で行います。

最優秀賞、優秀賞、後援者からの特別賞を決定します。

<スケジュール>

- ・ 募集期間 : 10月11日（月）～11月1日（月）正午
- ・ 1次審査（書類審査） : 11月1日（月）～11月5日（金）
- ・ ワークショップ（1次審査通過チームには4回のワークショップと最終ピッチコンテストに参加していただきます。）

※各回のワークショップには、必ずしもチームメンバー全員が参加する必要はございません。1チームから最低一名の参加を条件とします。

- Day 1 ワークショップ : 11月11日（木）13:30-17:30
- Day 2 ワークショップ : 11月26日（金）13:00-17:00
- Day 3 ワークショップ : 12月9日（木）13:00-17:00
- Day 4 ワークショップ : 12月24日（金）13:00-17:00
- ピッチコンテスト : 2022年1月

【問合せ・ご質問】

IMO ホームページ・アントレプレナーシップ教育担当

imo-entrepreneur@ (@マーク以下に、chiba-u.jp)と入力してください。